

福島県経営品質研究会事業内容

I 経営品質活動の普及啓発活動

1. 年度総会

事業年度終了後に会員が一堂に会し、事業報告及び収支決算の承認と事業計画及び収支予算の承認を決議するほか、代表幹事・幹事の選任等、運営体制について決議を行います。また、経営品質エキスパートによる講演会並びに懇親会を開催します。

2. 経営品質講演会（経営者交流会）

企業の経営幹部向けに、経営品質向上活動に取り組む意義やその卓越した成果について理解を得るため、先進企業の経営者や経営品質推進リーダーの講演を通じ、経営品質向上活動にかかわりの深いテーマで開催します。

3. 経営品質セミナー（経営品質勉強会）

企業の推進者向けに「経営品質プログラム」を組織内で展開するにあたり、推進者に必要なリーダーシップやセルフアセスメント（経営改善・革新プロセス）の考え方を学びます。

4. ベンチマーキング

企業の経営幹部、推進者向けに日本経営品質賞受賞企業のほか各地域協議会での受賞企業などの経営品質先行企業を訪問しベストプラクティスを学ぶことにより、自組織の経営品質向上活動の展開に活かします。

II 研究会年間スケジュール

講演会、セミナー参加費：正会員・会津若松経営品質協議会会員 ¥3,000～、非会員 ¥4,000～

開催月	年度総会	経営品質講演会	経営品質セミナー	ベンチマーキング
4月				
5月				
6月				
7月	○	○	○	
8月			○	
9月			○	
10月				
11月			○	
12月		○		
1月			○	
2月				○
3月				

*懇親会参加費並びにベンチマーキング参加費は別途申し受けます。

問い合わせ先

TEL（直通）：024-945-3003

E-Mail：fmq@f-mq.jp

福島県経営品質研究会設立準備会事務局（日本全薬工業(株)内） 担当：齊藤・小林

福島県経営品質研究会へのお誘い

～経営の質を高め、卓越した企業を福島から～



Fukushima
Management
Quality

福島県経営品質研究会

福島県経営品質研究会設立のご挨拶

近年の経営課題は、「経営基盤強化」、「人材の確保・人材の育成」、「働き方改革」「生産性向上」、「技術開発」、「国内需要の減少・競争激化」、「グローバル化」など多種多様にわたっています。また、EU離脱やトランプ政権の発足によるTTP撤退・パリ協定離脱など、これまでの枠組みとは異なる動きも出てきています。さらに、福島県においては、東日本大震災や東京電力福島第一原子力発電所事故による直接的被害、風評被害などの間接的被害が今も続き、さらに経営環境を厳しいものとしています。このような経営環境を乗り越えていくには、経営の品質をより高めていくことが重要です。

経営の質を高めるための経営品質向上（経営改善・革新）活動において、品質の高い優れた製品・サービスを生み出すには、製品・サービスそのものの問題対応では不十分であり、最終的にそれを生み出す組織の風土や文化、さらには組織そのものの見方や考え方を常に見直していくことが重要で、戦略的に品質を高め、リーダーシップ、戦略、人材、情報など、経営の全ての要素を顧客とその成果に結びつけて考えること、すなわち全体最適で経営を考えることが重要であるとしています。

福島県においては、会津若松経営品質協議会が県内で先駆けて活動を開始し、中部経営者協会では経営品質委員会を設置してセミナーの開催など活動しています。この活動の中から2016年日本全業工業(株)が東北の民間企業で初めて「日本経営品質賞（大企業部門）」を受賞しました。

今般、このことをきっかけに、福島県内に経営品質向上活動を広げようという気運が高まり、「福島県経営品質研究会」を設立するための準備会を立ち上げ、福島県内の多くの企業経営者様ならびに自治体や商工会議所などの公共的団体様にも参加を呼び掛けることとなりました。この研究会は「福島県経営品質協議会」への発展的立ち上げも視野に入れており、福島県経営品質賞の創設も視野に入れております。

ぜひとも、趣旨にご賛同いただき、本研究会へ入会していただきますようお願い申し上げます。

2018年4月

福島県経営品質研究会設立準備会

代表 高野 恵一

経営品質向上活動ってなに？

経営の質を高めるための経営品質向上（経営改善・革新）活動においては、基本理念の4要素と9つの重視する考え方のもと、お客様の求める価値の創造・提供を目指して自ら行うセルフアセスメントにより組織を見直し、経営課題を解決し、業績を向上させていく経営改善・改革の活動です。



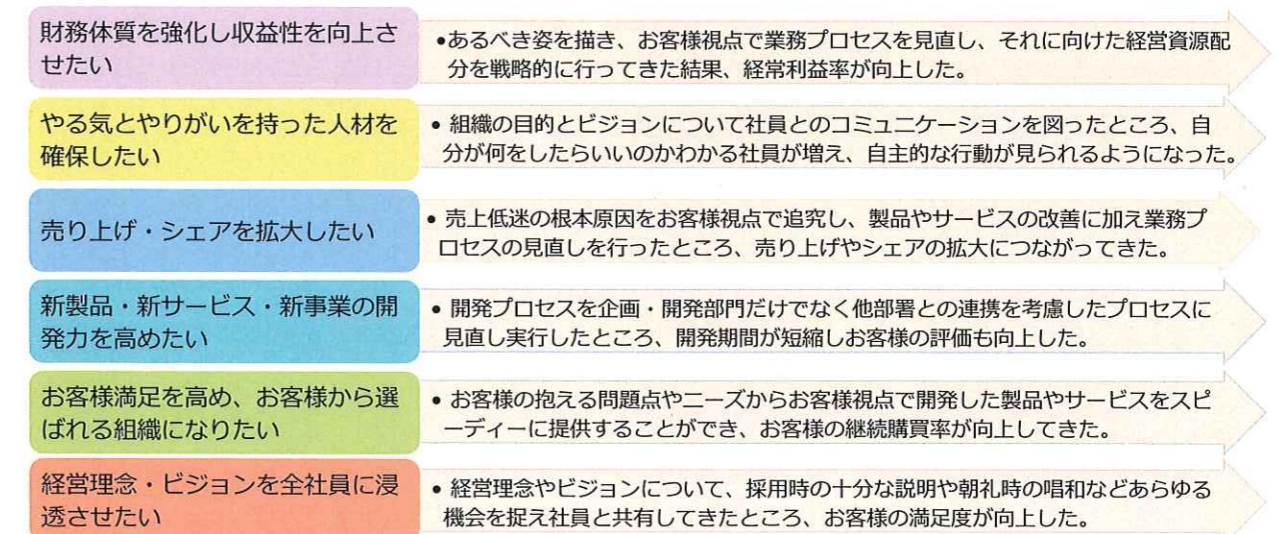
経営品質協議会*1は、米国マルコム・ボルドリッジ国家品質賞の日本版として1996年6月にスタートし2017年に22年目を迎えました。顧客の視点から経営革新を後押しすることで我が国産業の競争力を強化することを目的とし、日本経営品質賞を中心に活動支援を行っています。我が国では22の地域、1,200の組織で活動が実践されています。グローバルでは米国はじめ100以上の国や地域で経営品質向上活動が展開されています。

経営品質向上活動に取り組むとは？

経営品質向上プログラムに基づく「アセスメント基準書」を活用し、組織や部署の成熟度(仕組みの良さのレベル)を自ら評価し、自社の「強み」「改善領域」を明らかにするセルフアセスメントを行い、「強み」を伸ばし、「改善領域」を改善し、自社を変革する活動をバランスよく継続的に行う活動のことをいいます。この活動は、組織の「定期健康診断」であり、病気を早期発見し、重篤にならないよう処置し、生活習慣を見直すことで健康な生活を維持・向上させることと同じといえます。

経営品質向上活動で期待される効果

人口減少に伴う少子高齢化やグローバル化など、わが国や県内企業を取り巻く環境は厳しさを増し、優秀な人材の確保も益々難しくなっています。こうした中、収益性を向上し組織を持続的に発展させていくため、様々な経営課題の解決に経営品質向上の考え方が導入されています。



*1 経営品質協議会 <http://www.jqac.com/>

福島県経営品質研究会会員への申込み

[本研究会の目的]

昨今の厳しい経営環境・社会環境のなかで、顧客価値を前提とした経営を学び活用することにより経営の品質を高め、福島県産業界の発展に寄与するため「福島県経営品質研究会」を設立することといたしました。つきましては趣旨をご理解の上、当研究会に参画いただきますようご案内申し上げます。

入会ご希望の際は、下記フォーマットにご記入の上、下記事務局までFAX、メールまたは郵送にてお申し込み下さい。

[期間] 当年4月から翌年3月（年度途中入会も随時受け付け）

[会費] 年会費（消費税を含みます。年会費は後日ご請求させていただきます）
法人会員 ￥30,000-（会津若松経営品質協議会会員は￥10,000-）
個人会員 ￥15,000-（会津若松経営品質協議会会員は ￥5,000-）
*各種セミナー等の参加費は別途申し受けます。（会員は割引制度あり）
*振込先口座： 東邦銀行 郡山営業部（店番 200）普通 2384609
福島県経営品質研究会事務局 森尾 和衛

[お申し込み先]：

〒963-0196 福島県郡山市笹川字平ノ上 1-1 日本全薬工業(株)内
福島県経営品質研究会設立準備会事務局宛

FAX : 024-945-2394

E-mail : fmq@f-mq.jp

福島県経営品質研究会設立準備会
事務局長 森尾 和衛

福島県経営品質研究会入会申込書

送信日 年 月 日

事業所名			
代表者氏名		役職	
所在地	〒		
電話		FAX	
URL			
登録者氏名		所属・役職	
登録者メール			
会費区分	法人会員 / 個人会員 （該当会員に○を付けてください）		

※ご記入いただいた情報は、福島県経営品質研究会の運営及び各種連絡のため利用することがあります。なお、個人情報の取り扱いにつきましては、個人情報保護法に則り厳重に管理致します。

〔お問合せ先〕

TEL : 024-945-3003

福島県経営品質研究会設立準備会事務局（担当 齊藤・小林）

福島県経営品質研究会アンケート（会員用）

本研究会の活動が皆様のご期待に応えることができます様、御社の経営課題はじめ、皆様が本研究会に期待したいことやご要望など、忌憚ないご意見をお聞かせください。

Q-A 現在抱えている経営課題は何ですか。（番号に○を付けてください）

1. 人材確保・人材育成
2. 新製品・サービスの企画・開発
3. 販路拡大・収益性向上
4. 事業承継
5. その他

[]

Q-B 経営課題の対策について（番号に○を付けてください）

1. 特に対策を講じていない
2. 対策を検討中
3. 具体的な対策を実施している
4. 成果が出始めている

理由・内容など

[]

Q-C 経営品質向上活動について（番号に○を付けてください）

1. 知らない
2. 実施していない／過去取組んだが現在は休止している
3. 停滞している
4. 継続的に実施している
5. 経営品質賞への申請を検討している

理由・内容など

[]

【自由記載欄：皆様が本研究会に期待することやご要望など】